

## 2011年全日本社会人新体操選手権大会報告

第28回女子新体操大会・第19回男子新体操大会は2011年10月8日～9日長野県安曇野市の三郷文化公園体育館で開催され、全国から社会人として新体操を愛好する選手たちにより情熱あふれる大会となりました。

女子は1部に、三重の世界選手大会にも出場した日高 舞選手や、昨年の個人総合優勝者の浅沼 圭選手、全日本選手権大会で活躍した小野田 ゆず葉選手や、横山 加奈選手など豪華な顔ぶれで31名の選手が参加しました。

1部では日高選手（東京女子体育大学OG）が新しい構成で独創性ある技術、流れの中で巧みな手具操作を披露しました。クラブや、リボンではミスがありましたが、ボールの演技は確実に見事な演技により25.325点という大会最高点をマークして大歓声と拍手を得て個人総合優勝を飾りました。2位は横山加奈選手（NPO ぎふ新体操クラブ）、社会人にはありますが、迫力のあるエネルギッシュな演技、ミスの少ない確実さを見せて、技への挑戦意欲を感じました。3位は昨年の優勝者でユニークな演技構成、音楽と動きが調和して個性派の浅沼 圭選手（東京女子体育大学OG）と成長中の糸川みなみ選手（NPO ぎふRGクラブ）の競い合いとなりました、浅沼選手が難度技術の不確実さや、手具操作もミスが目立ち4位となりました。長田 朋恵選手（国士舘大学）、清水 美穂奈選手（ねもと新体操クラブ）などが高い技術への挑戦、シニアらしい魅力あふれる演技を見せ、熱い戦いとなりました。1位～3位までが全日本選手権大会への出場権を獲得しました。

2部は社会人になっても新体操を続けている選手たちが、楽しく和気藹々の中にも闘志とチャレンジする意欲がありました。日頃の練習の成果を発揮して、素晴らしい演技を見せてくれました。1位は 小野田 ゆず葉選手（東京女子体育大学OG）2位は奥原 知恵里選手（ポーラ☆スターRG）3位 近藤 のぞみ選手（Shaleur RG）でした。

3部は今年で2回目となりました。新体操の特徴を生かして、芸術性を重視して楽しさと美しさを追求しました。日高選手、浅沼選手、小野田選手がトリオを組み、高い技術も取り入れ、音楽と合わせて芸術的な演技で観客からも感動の拍手を受けていました。

団体は今回参加チームが少なく1部は1チームであったために残念ながらエキジビションとなりました。2部は3チーム参加、それぞれに個性ある演技構成をしていました。選手もコーチたちも、お互いに応援しあって笑顔で演技していました。地元名産のリンゴやお米などたくさんの賞品に選手たちも目を輝かせながら、頑張っていました。今後ともより多くの選手たちが、社会人になっても新体操を愛し続けてくれることを願っています。

今回、地元長野県の体操協会、教育委員会、長野県体育協会、安曇野市教育委員会の多大なご支援とご協力を頂き大会が盛会に終わられましたことを心より感謝申し上げます。

（記載 高橋 衣代）

男子については、今年の急遽の開催地変更にも関わらず例年以上の参加をいただきました

た。

個人1部については、昨年全日本チャンピオンの北村選手をはじめ、全日本上位入賞者から、元チャンピオンなど男子開催以来最高レベルと言ってもよい顔ぶれとなりました。

1部個人に出場した北村選手は4種目をノーミスで演技し優勝を果たし貫禄を見せました。2位以下の選手においても、みなさんかなり練習してきていることが演技及び得点でわかりました。また、上位入賞には届かなかった選手でも円熟された表現力豊かな演技を披露するなど、観客を魅了していました。観客席も立見がでるなど満員で、これも社会人大会初のことであり選手もやりがいがあったのではないかと感じました。

2部で参加された選手たちも、大声援の中で、楽しい新体操、楽しむ新体操をみなさんに披露しており、これも社会人の醍醐味であると思いました。

団体では3チームのエントリーがありましたが、1チームが棄権となり2チームでの争いでしたが、男子新体操の真髄ともいえる団体では会場全員が全チーム応援するなど大変盛り上がりました。結果はアルフレッサ日建産業が2位の会・光R Gに僅差で勝ち、2年ぶり3度目の優勝を果たしました。

福島大会が東日本大震災の影響で中止となり急遽長野県体操協会様がお引き受け下さいました。短い準備時間であったにも関わらず安曇野市役所の皆様、長野県体操協会の皆様、地元新体操クラブの関係者様、温かいおもてなし大変感謝申し上げます。

(記載 臼井 俊範)